

1 ■チャプター2

2  
3 ■射精後しばらく経ち、ヒロインの呼吸が整った後

4 ■ヒロイン：フェラ体勢から立ち上がる

5 ■SE：膝を突いていた状態から、その場に立ち上がる際の音

6  
7 ■マイク位置：正面（中）

8 ……い、いかがでしたか？

9 たくさん悪しき白い汁を出されたようでしたので、神に祈りが届いたかと……

10  
11 /視線を一瞬下げ、まだ主人公が勃起状態にあることに気づき驚くヒロイン

12 え……っあ……その……

13 あれだけだされたのにまだ、こんなに大きい……っ

14 これは……私が未熟なせい……

15 そのせいで、まだあなたの中に溜まった悪しき白い汁を搾り出せていないのです  
16 申し訳ありません……しかし、これ以上何をすれば良いのか私にはもう……

17  
18 ■主人公：手でしごいて欲しい  
19

20 手で……というと、先程のようにでしょうか？

21 口でご奉仕した方が効果的なようにも思えましたが……

22 ……時間をかけた方が、より悪しき汁を搾り出せるのかもしれない  
23 ですので……失礼します……  
24

25 ■ヒロイン：一歩前に踏み出し、主人公に密着状態で手コキを開始する

26 ■SE：一歩踏み出す音、密着時の衣擦れ音、手コキ音（以降継続）

27  
28 ■マイク位置：正面（近）

29 /先程よりも多少余裕があり、初心な感想を独り言気味に漏らす

30 確か……こうでしたか……？

31 ……とても硬いです。

32 それだけ、悪しき白い汁がまだ中に溜まっているということ……。

33 この苦しみを抱えたまま、私どもを頼ってここまで来てくださったんですね……？

34 でしたらお役に立てるまで……すべてを出し切るまで、ご奉仕致します……っ

35  
36 /腕を動かし続けていることと、軽い興奮により息が乱れ始める

37 ふう……ふう……ふう……。

38 よく見るととても、その……まがましい形をしています……っ。

39 話には聞いたことがありますが、見るのも触るのも初めてです……っ。

40 ですので扱い方がよく分かります……っ。

41 ……力加減はこのくらいで良いのでしょうか？

42  
43 ■主人公「丁度良い」

44

45 ……そう、ですか……良かったです……っ。

46 ではこのまま、続けます……っ。

47

48 ■主人公「乳首を触って欲しい」

49

50 //軽く驚きを見せる

51 ……乳首、ですか？

52 いえ……少し意外だったもので。

53 その……乳首は、女性が子供に母乳を与えるための部位です。

54 なのに今、そこを弄ることに意味があるのかと思ひまして……。

55 ……ですが先程も、あなたの言うとおりにして悪しき白い汁を出すことができました。

56 疑うべきではありませんね。

57

58 ■ヒロイン…主人公の服の隙間（腹部分）から手を入れ、乳首を弄り出す

59 ■SE:衣擦れ音

60

61 っ、これでよろしいでしょうか……？

62

63 //ペニスの反応に気づき、正しい行為だと悟る

64 あ……またこの……男の人のモノが、ビクビクと……。

65 乳首もまた、悪しき白い汁を搾り出すのに有用な箇所だったのですね……

66

67 //我慢汁に気づき、少し戸惑う

68 ふう……ふう……ふう……ん……？

69 白くはありませんが、透明な汁が出てきています……っ

70 これは悪しき白い汁が出る前兆……なのでしょうっか。

71 このまま続けていれば、やがて……。

72

73 ■主人公「乳首を舐めて欲しい」

74  
75 ……舐める……そうか……そうですね。

76 先程も、お口でご奉仕したからこそ、悪しき白い汁を搾り出すことができました。  
77 当然、乳首を舐めれば同じ効果が得られるはずです。

78 緊張のあまり、簡単なことにも気づけず申し訳ありません。  
79 それでは……失礼します。

80  
81 ■ヒロイン：手コキを継続しながら服をたくし上げ、乳首を舐め始める

82  
83 ■マイク位置：真下（右寄り）※右乳首から舐め始める

84 / 拙い舌責め

85 れろじゅくっ……ちゅっ……んんうっ……

86 乳首……ぷっくりしていらっしやます……ちゅっ……れろじゅくっ……

87 んちゅじゅるっ……じゅくっ……じゅりじゅるっ……

88 はっ……はあっ……んちゅじゅるっ……ちゅくじゅりっ……じゅるるっ……

89 そして確かに……またビクビクが強くなっておられるようです……れろじゅくっ……

90 ちゅむっ……んっ……れろじゅっ……ちゅくっ……

91 はむじゅるっ……じゅりっ……じゅりじゅるるっ……

92  
93 ■主人公「反対側（左乳首）も舐めて欲しい」

94  
95 ■マイク位置：真下（右寄り↓左寄り）

96 ふっ……ふっ……分かりました、こちらですね……っ

97  
98

99 ■マイク位置：真下（左寄り）

100 んちゅっ……ちゅくっ……れろじゅくっ……んんうっ……

101 はむじゅるっ……ちゅっ……んちゅじゅっ……ちゅくれろっ……じゅくっ……

102 ■主人公：空いている手を使い、左右の乳首を同時に責めるように指示

103  
104 / 発想に気づかず、申し訳なさそうにする

105 んちゅじゅくっ……ああ、確かに……っ

106 二つらの手を使えば、左右どちらの乳首にもご奉仕できます

107 気づかず申し訳ありません……ちゅっ……れろじゅくっ……じゅるっ……

108 ちゅむっ……れろじゅりっ……じゅくっ……じゅるるっ……

109 左右の乳首を……んちゅじゅるっ……ご奉仕しているからでしょうか……んちゅっ  
110 れろっ……ちゅくじゅるっ……堅さがどんどん強くなっている気がします……  
111 んっ……れろれろじゅくっ……ちゅくじゅるっ……  
112 んちゅじゅくっ……透明のヌメヌメも、次々溢れて……ちゅくじゅっ……  
113 れろっ……れろじゅくっ……ふっ……んちゅじゅりっ……  
114 このまま搾り出せば……ちゅっ、んちゅじゅっ……神に祈りが届くでしょうか……っ  
115 悪しき白い汁を……んちゅじゅくっ……すべて吐き出せるでしょうか……っ  
116

117 ■主人公「キミのおまんこにぶっかければ浄化できる」  
118

119 んちゅっ……ちゅくじゅるっ……じゅっ……ん……っ？  
120

121 ■ヒロイン：想像していなかった言葉に、乳首舐めを止め、顔を上げる  
122

123 ■マイク位置：正面（近）  
124

……今おっしゃったことは本当ですか？

125 私の……その……アソコに、悪しき白い汁をかければ浄化できるというお話です  
126 ……いえ、前にどこかで聞いた気が……ああ、そうでした。間違いありません。  
127 そうです

128 女性の、その……性器に悪しき白い汁をかけることで、浄化されるのです。

129

130 ■ヒロイン：手コキを続けながらも、パンツを脱ぐ

131

132 ■SE：脱衣音、片足ずつ上げる際の音

133 そんな当たり前のことを忘れてしまっていたなんて、シスターとしての恥です……っ

134

135 未熟な私をどうかお許しください……っ

136

137 ■ヒロイン：手コキの速度を速める

138 //激しい手の動きと恥じらいにより、呼吸が乱れる

139

140 その代わりと言っては、おこがましいですが……はぁ……はぁ……

141 ■ヒロイン：シスター服をたくし上げ、近場の長椅子に片足を上げ、秘部を晒す

142

143 ■SE：たくし上げる音、椅子の座面部分を靴で踏む音

144

ぶっぞ私の……はっ……はぁっ……おかけください……っ

145 私の未熟な身体で……はあっ……すべてを浄化させられるかは分かりませんが……っ  
146 はっ……はあっ……どうぞ……っ  
147 遠慮無く……ふう……ふう……中に残っている悪しき白い汁を、すべて……  
148 はあっ……はあっ……はっ……はあっ……はあっ……  
149

150 ■主人公：射精を迎える

151 ■SE：射精音

152 ■ヒロイン：秘部に射精を受ける

153 ■SE：手口音「うっ」

154

155 /数回に分けて出される精液に应じて、ビクビクと身体を反応させる

156 /先程は喉奥に出されたため、生まれて初めて見る反応のヒロイン

157 んっ……ふうっ、はあっ……あっ……んんうっ……

158 これが男の人に宿る、悪しき白い汁……っ

159 こんなにも熱くて……ドロドロしているのですね……

160 はあ……はあ……はあ……はあ……

161

162 /息を整え、軽く安堵した様子

163 しかしこれで、あなたの中にあつた悪しき白い汁はすべて吐き出されたはず……

164 心なしか先程よりも、すっきりとした顔つきをされているように思います

165 お役に立てたようで何よりです